

ヨシナカ新聞

4月号

発行所

（株）北陸ヨシナカ

東京営業所

TEL:03-3555-0796

FAX:03-3553-8444

戦国武将ブーム

伊達政宗や真田幸村、長宗我部元親といった戦国武将が若い女性のあいだでブームになっているそうです。

枝垂(しだれ)桜

東京都江戸川区西葛西にある行船公園にはたくさんの桜の木があり、花見シーズンの4月最初の土日は、多くの人達が花見を楽しんでいらつしました。



上の写真は公園内の庭園にある枝垂桜です。美しい姿に立ち止まって見とれている方が何人もいらつしました。

私もその中の一人だったのですが、枝垂桜はバラ科サクラ属の落葉高木で、原産国は日本。朝鮮原産の野生種であるエドヒガンの変種と言われています。

なぜ枝が垂れるのかという研究をしているグループがあり、枝は一般に伸びると重力によって下に垂れそうになるが、ふつうの植物にはそれに打ち勝つだけの復元する力があり、上(太陽)に向かって伸び続ける。しかし枝垂桜にはその力が弱く、人間が支え木などを出して育てていかないと大きくならないとの見解を出しているそうです。人間でいうと、腕を上げるだけの筋肉がないということ?。ちなみに花言葉は「こまかし」だそうです。なんだか可哀想。なお、下の写真は、公園内にある通常の桜の花です。

ステンレス豆知識

孔食

ステンレスの不動態皮膜が局部的に破壊されて、写真に示される通り孔状に腐食される形態は『孔食』と呼ばれています。孔食は塩素イオンを含有する溶液中で最も起こりやすく、主な環境としては次亜塩素ナトリウム(NaOCl)、塩素水、塩化第二鉄、海水、その他各種ハロゲン化物水溶液などがあります。

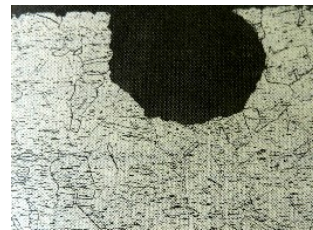
孔食に対する対策としては、モリブデン添加鋼(SUS316、SUS317など)や更にクロム含有量を増加した鋼種を使用することが有効で、鋼の耐孔食性を示す指標として、Cr%+3.3Mo

%がしばしば用いられます。また、オーステナイト系鋼種では窒素の添加も効果があるといわれています。一般にはSUS316、SUS317などの鋼種が使用されますが、更に条件が厳しい環境では、クロム、ニッケル、モリブデンの含有量を増加した特殊ステンレスが使われる場合もあります。

フェライト系ステンレスのなかでもクロム含有量を高くし、モリブデンを添加したSUS444、SUS447J1、SUSXM27などの鋼種は耐孔食性に優れています。また、高クロムでもモリブデン、窒素を含有しているオーステナイト・フェライト系ステンレスSUS329J2Lも優

れた耐孔食性を示します。

孔食を防ぐためには、使用上ステンレス表面の異物の付着、塩素イオンの濃縮を避けることが有効であり、海水に対して使用する場合には、その流速を1.5M/秒以上することが効果的とされています。



(資料:『ステンレスのおはなし』日本規格協会)



元親、確かに格好いいですね。

武将ゆかりの地や博物館などでは、女性の姿が目立つており、特に「長宗我部元親ファン」が増えているそうです。高知市の若宮八幡宮では、参拝客の90パーセント以上が若い女性で、突然の「元親人気」を受けて、神社では元親にちなんだミニチュアののぼりや絵馬を製作したところ、売れ行きは好調で、境内に元親の銅像があり、こちらも「かつこいい」と評判に。

こうした戦国武将人気は、どうやら全国に広がっている様子で、真田幸村ゆかりの地である長野県上田市では、真田家の家紋である「六文銭」のマークの入ったお土産などを買って女性の姿も多く見られるそうです。

ブームの火付け役とされているのは、戦国時代をテーマにした大河ドラマや「戦国BASARA」という人気ゲームソフト。武将のキャラクターがみんなカッコよくつくられていて、女性に人気が出てきているのだとか。

ちなみにソフトメーカーが実施した人気投票では、1位が伊達政宗、2位が真田幸村、3位は長宗我部元親。左のキャラクターは人気ゲーム「戦国BASARA」シリーズに登場する長宗我部元親、確かに格好いいですね。

K社員のピアノ奮闘記 第三十九話 R先生

平成17年11月、東京で習っていた同じ会社の奈良店でピアノを習う事になり、R先生の最初のレッスンを受けました。R先生は堺(大阪)ピアノコンクールで優勝された経歴の持ち主ということで、少し緊張気味の私でしたが、先生はそれを察してか、明るく接して下さいました。

最初は、基本練習のハノンから練習することになりました。既にレッスン1~10を終えていた私はレッスン11のページを開きますが、最初からやりましょうとの先生の言葉で、レッスン1を開いて弾き始めます。

ん? え? ええつ? なんだか高い音が右から聞こえてくるぞ。。。。

な、なんと、先生も一緒に横で高音の鍵盤を弾いていらつしやるではありませんか。それもとても強くたくましい音で。I先生はそんな事さねなかったぞ。これはまずい。間違えられない。そう思った瞬間、私の指はしどろもどろ。間違う度に先生も演奏を止めて待つてくださいます。それがまたプレッシャーになって焦りまくる私でした。